

－ 空中バンク －

いわき平競輪

13#

電話投票競輪場番号



いわき市

産業振興部 公営競技事務所

目 次

いわき平競輪場 ご来場時の注意事項

1 施設概要	p 1
(1) いわき平競輪場（通称：空中バンク）	
(2) 郡山場外車券売場	
2 メイスイスタンド	p 4
(1) 1階（エントランス）	
(2) 2階（オッズホール／くつろぎスペース）	
(3) 3階（一般観覧席／キッズコーナー／3Fエントランス）	
(4) 4階（一般観覧席／レストラン）	
(5) 5階（特別観覧席専用フロア）	
(6) 6階（ロイヤルルーム専用フロア）	
3 バックスタンド	p 7
(1) 1階（オープンスペース）	
(2) 3階（観覧席／サイクルシアター）	
4 地域開放型施設（バックスタンド及びバンク内）	p 8
(1) 開放施設の概要	
(2) 手続	
(3) 減免	
(4) 使用不承諾等	

5 競輪事業の役割

p11

- (1) 競輪事業について
- (2) 競輪事業特別会計から一般会計への繰り出しについて
- (3) いわき平競輪における一般会計繰出金の推移

6 いわき平競輪のあゆみ

p12

7 競輪のしくみ

p15

- (1) 競輪って何？
- (2) 競輪の開催
- (3) 自転車（レーサー）
- (4) 競輪選手
- (5) 競輪レース

1 施設概要

(1) いわき平競輪場（通称：空中バンク）

【特徴】 いわき平競輪場は、主にバンク（競走路）、メインスタンド、バックスタンド、選手宿舎の4つの建物で構成されています。特に、二層構造で建てられたバンク（一層目が駐車場、二層目が競走路）は特徴的で、空中バンクと呼ばれています。

このバンク下を観客が行き来できることを活かし、屋外施設としては国内で唯一バンクの内側からいつでも観戦でき、またプラザ内でさまざまなイベントを行えるので、いわき平競輪場は、その現代的な外観と併せて、国内でも高い評価を得ています。



〔 設 計 監 理 〕	(株)日本設計
〔 施 工 〕	大林組・常磐開発・東部産業・大和電設工業・クレハ電機・クレハ設備・日化エンジニアリング 特定建設工事共同企業体
〔 整 備 事 業 期 間 〕	平成16年度～平成20年度／平成21年3月リニューアルグラウンドオープン
〔 整 備 事 業 費 〕	総額 約148億円
〔 事 業 費 財 源 〕	いわき平競輪事業基金
〔 敷 地 面 積 〕	30,307㎡
〔 構 造 〕	鉄骨鉄筋コンクリート造／地上6階、地下1階
〔 スタンド床面積 〕	17,355㎡（メイン・バック）
〔 収 容 人 員 〕	8,585人／固定席1,452人、立見7,133人
〔 駐 車 台 数 〕	754台／1F（バンク下）472台、第2駐車場80台、第12駐車場170台、第14駐車場32台
〔 発 払 窓 数 〕	90窓／自動発払機35台、自動発売機40台、有人発払窓15窓（非開催払戻1窓含む）
〔 場 内 モ ニ タ 数 〕	299台

〔 建 物 の 内 訳 〕

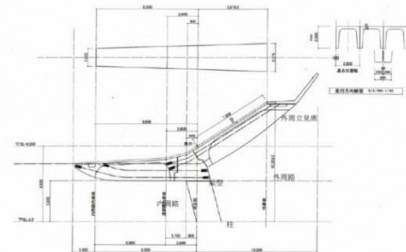
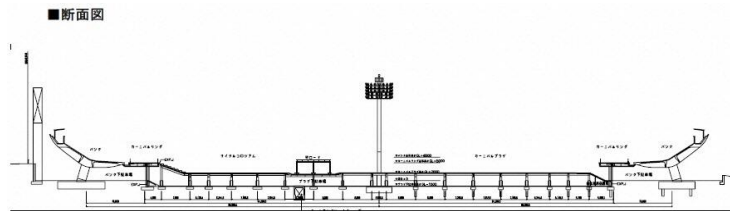
① バンク（競走路）／1周400m、地上高6～8m

（二層式構造：1F駐車場、2Fバンク）

〔構造〕 プレキャストプレストレストコンクリート造

〔工法〕 圧着組立工法

〔基礎〕 直接基礎・杭基礎（異種基礎併用）



〔バンク内〕

- ・カーニバルプラザ（平ロード東側エリア）
- ・サイクルコロシウム（平ロード西側エリア）

② メインスタンド ※ 2Fは関係者フロアとなっております。

1 F 入口、エントランスホール、インフォメーション、コインロッカー、手荷物預かり所、投票所・払戻、指定券売場（5階特別観覧席）、フードコーナー、喫煙コーナー、救護室（授乳室）

2 F 検車場、ローラー室、選手入場口、選手控室、診療所、JKA事務所

3 F 南ゲート入口（西側）、一般観覧席（708席）、インフォメーション、投票所・払戻、キッズコーナー、喫煙コーナー、チャリ・ロトプラザ

4 F 一般観覧席（432席）、投票所・払戻、レストラン、喫煙ルーム

5 F 特別観覧席（92席／有料）、投票所・払戻、喫煙ルーム

6 F ロイヤルルーム（5室／有料）※ 1室最大6名、投票所・払戻、リフレッシュコーナー（喫煙コーナー）

③ バックスタンド（地域開放型施設）

1 F オープンスペース、投票所・払戻、喫煙コーナー、チャリ・ロトプラザ

3 F 入口、観覧席（200席）／サイクルシアター、投票所・払戻、インフォメーション

（4 F） 升席3区画、喫煙コーナー

④ 選手宿舎（管理エリア内）

- ・鉄骨鉄筋コンクリート造5階建（延床面積：3,433㎡）
- ・最大収容人数：170名



メインスタンド



バックスタンド

(2) 郡山場外車券売場

[所在地]	郡山市方八町1丁目11-29（郡山駅近く／「イオンタウン郡山」と「ヨークベニマル方八町店」の間）
[供用開始]	昭和58年7月
[構造]	鉄筋コンクリート造2階建
[敷地面積]	5,972.46㎡
[延床面積]	5,877.21㎡
[収容人員]	3,500人
[駐車台数]	486台
[発払窓数]	28窓／自動発払機8台、自動発売機17台、有人発払窓3窓
1 F	一般席、キッズルーム、車券売場、喫煙ルーム、チャリロトプラザ
2 F	一般席、特別観覧席60席（車券売場、喫煙ルーム）



郡山場外外観



2F特別観覧席

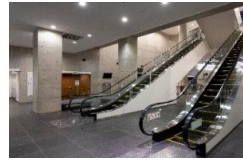


1F一般席

2 メインスタンド（館内フリーWi-Fi完備）

(1) 1階（エントランス）

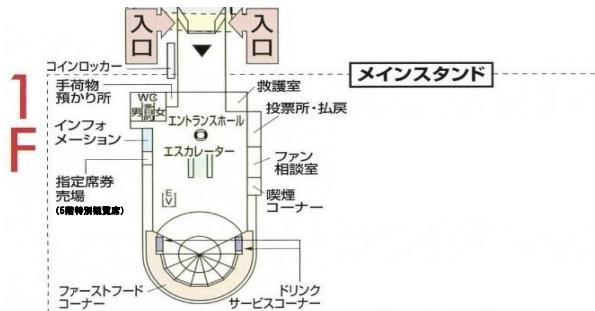
- ・ 入口
- ・ エントランスホール
- ・ インフォメーション（総合受付案内／6階ロイヤルルーム受付）
- ・ コインロッカー
- ・ 手荷物預かり所
- ・ 投票所・払戻（自動発払機）
- ・ 指定券売場（5階特別観覧席）
- ・ フードコーナー
- ・ 喫煙コーナー
- ・ ドリンクサービスコーナー
- ・ 救護室（授乳室）
- ・ ファン相談室



エントランスエスカレーター



インフォメーション（総合案内）



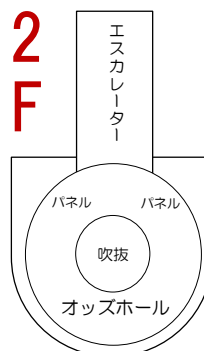
指定券売場（5階特別観覧席）



フードコーナー

(2) 2階（オッズホール／くつろぎスペース）

- ・ 選手紹介パネル
- ※ モニターとベンチのみ。



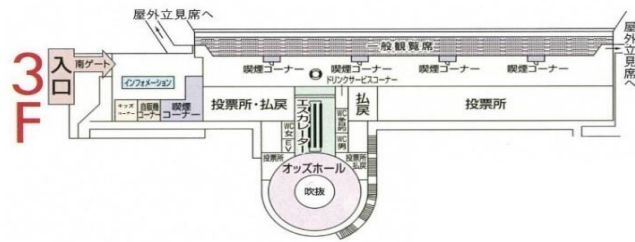
選手紹介パネル



オッズホールにある開設70年の歩み

(3) 3階（一般観覧席／キッズコーナー）

- ・ 南ゲート入口（西側）
- ・ 一般観覧席（無料）
- ・ インフォメーション
- ・ 投票所・払戻（自動発払機）
- ・ キッズコーナー（無料）
- ・ 喫煙コーナー
- ・ ドリンクサービスコーナー
- ・ 自動販売機コーナー
- ・ オッズホール
- ・ チャリ・ロトプラザ
メインスタンド店



チャリ・ロトプラザ メインスタンド店



南ゲート入口（西側）



キッズコーナー



一般観覧席

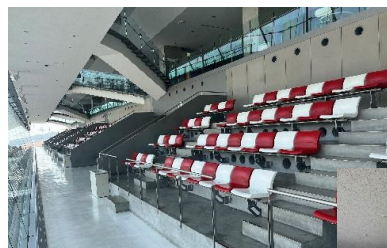


自動発払機前

(4) 4階（一般観覧席／レストラン）

※ レストランは、休止しています。

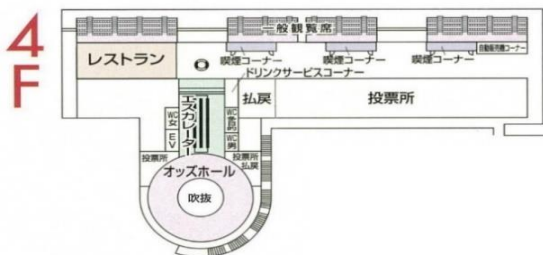
- ・ 一般観覧席（無料）
- ・ 投票所・払戻（自動発払機）
- ・ レストラン
- ・ 喫煙コーナー
- ・ ドリンクサービスコーナー
- ・ 自動販売機コーナー
- ・ オッズホール



一般観覧席



自動発払機前



レストラン（休止）



ドリンクサービスコーナー

(5) 5階（特別観覧席専用フロア）

※ 1階の指定席券売場にてチケットをお買い求めください。

・特別観覧席（有料）

座席数：92席

入場料：2,000円（場外開催時：1,000円）

※ 1席に小型モニター1台とコンセント2口を完備。

・自動販売機コーナー

※ 本場開催時のみフリードリンク。

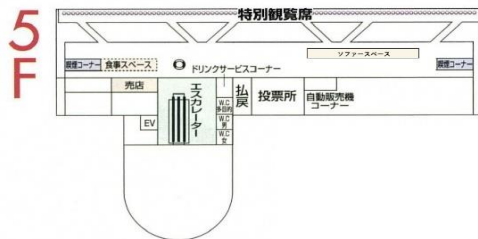
・投票所・払戻（自動発払機）

・喫煙コーナー

・ドリンクサービスコーナー

・売店

・食事スペース、ソファースペース



開放感のある特別観覧席



ソファースペース



階段で特別観覧席へ

(6) 6階（ロイヤルルーム専用フロア） ※ 現在は、利用できません。

※ ロイヤルルームまで直通の専用エレベーターをご利用ください。

※ 本場で記念競輪、特別競輪を開催する場合は閉鎖します。（例外あり）

・ロイヤルルーム（有料）

※ 1階インフォメーションまたは、開催日にお電話でお申し込みください。

部屋数：5室（定員6名／室）

入場料：10,000円（場外開催時：5,000円）

※ 1室に大型モニター1台、マッサージチェア1台、

小型モニター4台付長机、コンセント4口、

ソファースーツを完備。

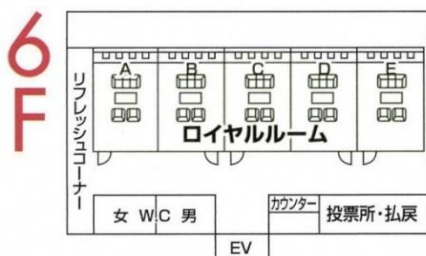
ドリンク：本場開催時のみフリードリンク

※ 室内から館内レストランへのご注文を承っています。

その他のご要望（ex.ルーム内喫煙など）については、1階インフォメーションまたは6階受付にご相談ください。

・投票所・払戻（自動発払機）

・リフレッシュコーナー（喫煙スペース）



6名まで利用可能なロイヤルルーム



大型モニター・ソファースーツ

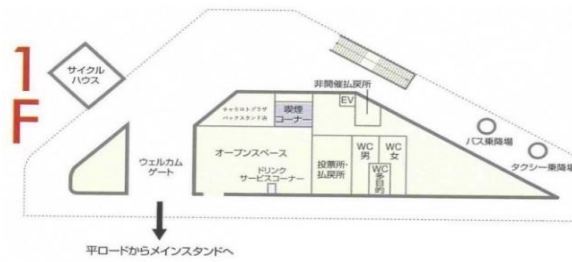


バンク全体を見渡せる観覧席

3 バックスタンド（館内フリーWi-Fi完備）

(1) 1階（オープンスペース）

- ・ オープンスペース
- ・ 投票所・払戻（自動発払機）
- ・ 喫煙コーナー
- ・ ドリンクサービスコーナー
- ・ タクシー乗降場
- ・ チャリ・ロトプラザ バックスタンド店
- ・ サイクルハウス（別棟）



チャリロトプラザ バックスタンド店



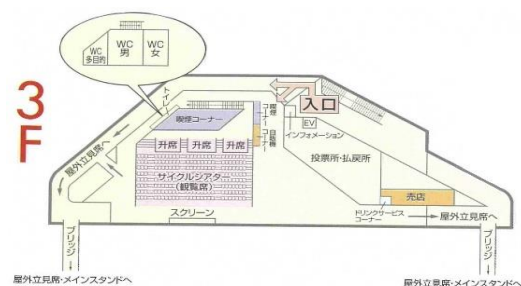
バックスタンド



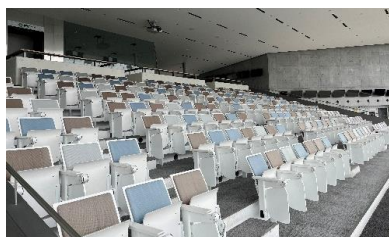
オープンスペース

(2) 3階（サイクルシアター／観覧席）

- ・ サイクルシアター／観覧席（無料）
- 座席数：椅子席200席
- 升席：3区画
- ・ インフォメーション
- ・ 投票所・払戻（自動発払機）
- ・ 喫煙コーナー
- ・ ドリンクサービスコーナー
- ・ 自動販売機コーナー
- ・ 売店（休止）



※ 場外ナイター開催時のみ営業（新聞、ドリンク、お菓子等）。販売品は変更となる場合があります。



一般観覧席



自動発払機前

4 地域開放型施設（バックスタンド及びバンク内）

いわき平競輪場では、地域の皆様に次の施設を有料にて開放しています。用途に応じてさまざまな利用が可能です。

(1) 開放施設の概要

使用時間は、午前9時から午後9時までとなります。

区分	場所	名称		位置	仕様	利用料 ／1時間	備考
屋内	バック スタンド エリア	サイクルハウス		戸建	40席程度	360円	期間制限なし
		オープンスペース		バック スタンド 1F	80席程度	600円	非開催日のみ
		サイクルシアター		バック スタンド 3F	200席、 升席3区画	1,160円	非開催日のみ
屋外	バンク内	カーニバルプラザ・ サイクルコロシウム		バンク内	-	4,680円	非開催日のみ
		付 属 設 備 等	夜間照明 設備	センターポール部		2,850円	
				立見席部		2,670円	
				屋上部		820円	
			持込 電気機器	-		100円	1kWあたり

(2) 手続

利用の手続きについては、次のとおりです。

〔受付場所〕 公営競技事務所（管理棟6F）

〔受付時間〕 平日の午前8時30分から午後5時まで

※ 休日、祝日、年末年始（12/29から1/3）は受け付けておりません。

〔受付時期〕 利用日の3ヵ月から2週間前まで

(3) 減免

公共的な団体が利用する場合、利用料金が減免となることがありますので、手続きの際にご相談ください。

(4) 使用不承諾等

次の場合は、施設の使用を認めません。退場していただく場合もございますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ・ 公の秩序を乱し、または善良な風俗を害し、あるいはその恐れがある場合。
- ・ 施設、設備、備品等を損傷または滅失し、あるいはその恐れがある場合。
- ・ 管理運営上支障がある場合。

① サイクルハウス（バックスタンド西側）

開催時も、利用できます。

空調完備なので、会議や打ち合わせ小規模な講演会等に利用できます。

トイレは、隣接するバックスタンド1F（外側）を利用ください。



サイクルハウス



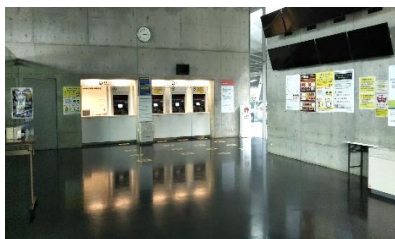
サイクルハウス室内（40席程度）

② オープンスペース（バックスタンド1F）

開催時は、車券売場となるので利用できません。

オープンスペース内に、喫煙コーナーがあります。

トイレは、バックスタンド1F（外側）を利用ください。



オープンスペース（80席程度）



駐車場側から見た外観

③ サイクルシアター（バックスタンド3F）

開催時は、車券売場と観覧席となるので利用できません。

上部後方に、升席が3区画と喫煙コーナーがあり、スタンド席の下には喫煙コーナーとトイレがあります。



シアター設備利用時（固定席200席）



バンク側から見た外観

④ カーニバルプラザ（バンク内東側）

開催時には、さまざまなイベントを催しています。 ※ 例外あり。

場外開催時は、内容により利用が可能な場合もありますので、
ご相談ください。

トイレは、バックスタンド1F（外側）を利用ください。



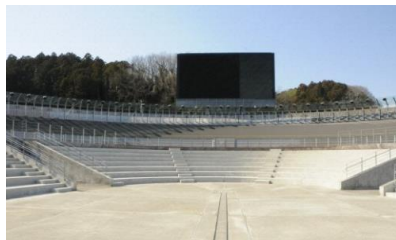
バンク東側からの風景



センターからの風景

⑤ サイクルコロシウム（バンク内西側）

本場開催時や場外開催時には、オーロラビジョン側にあるため、
利用できません。



オーロラビジョンとサイクルコロシウム



バンク西側からの風景

5 競輪事業の役割

(1) 競輪事業について

競輪は、自転車競技法により、「自転車その他の機械の改良及び輸出の振興、機械工業の合理化並びに体育事業その他の公益の増進を目的とする事業の振興に寄与するとともに、地方財政の健全化を図る」(同法第1条第1項)ことを目的に、全国43競輪場(1都1道2府29県)で公営競技としての自転車競走が行われています。

いわき市では、市の事業の1つとしていわき平競輪を開催し(年間約15節)、その収益の一部を競輪事業の特別会計から市の一般会計に繰り出すという形で、皆様の暮らしに役立てています。

(2) 競輪事業特別会計から一般会計への繰り出しについて

競輪の車券売上金のうち払戻金(75%)と開催に必要な諸経費を除いた収益金の一部を、市の一般会計に繰り出し、主に市の施設の整備事業などの充実に役立てています。

いわき平競輪開設以来72年間で繰出金の合計額は、約881億8,584万円となります(令和5年3月31日現在)。この額は、車券売上合計額約1兆4,007億9,389万円のうちの約6.3%に及びます。

令和4年度の繰出金は、清掃センターの長寿命化事業、集会所の整備、道路の維持補修事業、小中学校のトイレ改修、保育所の地震補強整備事業、工場等の増設・新設の支援、林道改良事業、消防車両の整備などに充てられました。

(3) いわき平競輪における一般会計繰出金の推移(平成29年度から令和4年度)

平成29年度 : 3億9千万円
平成30年度 : 6億6千万円
令和元年度 : 3億1千万円
令和 2年度 : 4億5百万円
令和 3年度 : 4億7千万円
令和 4年度 : 3億8千万円

6 あゆみ

年	月	施設及び開催関係	備考
昭和23(1948)年	8月	「自転車競技法」 公布・施行	
	11月	小倉競輪場にて国内初の競輪を開催	12月大阪、翌年1月大宮
昭和25(1950)年	5月	競輪場設置許可申請（平市→通商産業省）	
	8月	競輪場設置承認(平市←通商産業省)	
昭和26(1951)年	2月	平競輪場 開設	
	9月	平場外車券売場 設置	S41移転、H23閉鎖
	10月	郡山場外車券売場 設置	S43移転、S58移転
昭和31(1956)年	4月	経営が平市から石城競輪組合へ	
昭和41(1966)年	4月	平場外車券売場 移転	
	10月	いわき市誕生 経営が石城競輪組合からいわき市へ	10/1
昭和43(1968)年	3月	郡山場外車券売場 移転	
昭和46(1971)年	1月	郡山場外車券売場 増築	
昭和52(1977)年	8月	旧メインスタンド 改築	
昭和53(1978)年	3月	第31回日本選手権競輪 開催（優勝者：藤巻清志[神奈川]）	特別競輪 1回目（GI）
昭和55(1980)年	9月	選手宿舎 新築	
		第23回オールスター競輪 開催（優勝者：中野浩一[福岡]）	特別競輪 2回目（GI）
昭和57(1982)年	5月	第29回全日本プロ選手権自転車競技大会開催（優勝者：野田正[福岡]）	
昭和58(1983)年	7月	郡山場外車券売場 新築移転	
	9月	第26回オールスター競輪 開催（優勝者：菅田順和[宮城]）	特別競輪 3回目（GI）
昭和61(1986)年	9月	第29回オールスター競輪 開催（優勝者：伊藤豊明[愛媛]）	特別競輪 4回目（GI）
平成 3(1991)年	4月	「平競輪」から「いわき平競輪」に名称変更	4/1
	10月	いわき市市制施行25周年	
平成 4(1992)年	5月	全国で電話投票 開始	
平成 5(1993)年	12月	自動車券発売機・払戻機 導入	
		郡山場外車券売場 増築（マルチビジョン設置）	
平成 6(1994)年	9月	第37回オールスター競輪 開催（優勝者：出口真浩[神奈川]）	特別競輪 5回目（GI）
平成 8(1996)年	5月	車番制マークシート方式の導入 第43回全日本プロ選手権自転車競技大会開催（優勝者：十文字貴信[千葉]）	
	12月	「ケイリン」が五輪種目に正式採用決定	
平成 9(1997)年	8月	第13回全日本選抜競輪 開催（優勝者：児玉広志[香川]）	特別競輪 6回目（GI）
平成10(1998)年	9月	サテライトかしま（福島県鹿島町）オープン	
平成13(2001)年	4月	グレード制 導入	
	6月	競輪場で酒類販売可能	
	12月	郡山場外車券売場 特別観覧席 設置	
平成14(2002)年	4月	インターネット投票 開始	
	6月	「いわき平競輪場整備基本計画」策定	
	12月	新賭式の導入（2賭式→7賭式）	
平成15(2003)年	2月	第2回東王座戦競輪（※1）開催（優勝者：岡部芳幸[福島]）	特別競輪 7回目（GI）
平成16(2004)年	3月	サテライト大和（宮城県大和町）オープン	R5.3/31 車券発売業務休止

年	月	施設及び開催関係	備考
平成16(2004)年	6月	メインスタンド・バンク建設工事 発注	
平成17(2005)年	6月	選手宿舍建設工事 発注	
		サテライト朝日（山形県朝日町）オープン	H2O閉鎖
平成18(2006)年	4月	サテライト福島（福島県福島市）オープン	
	5月	サテライトあだたら（福島県二本松市）オープン	
	6月	ポータルサイト「KEIRIN.JP」オープン	
	10月	いわき平競輪場 リニューアルオープン	10/21
	12月	郡山場外車券売場 リニューアルオープン	12/2
平成19(2007)年		第22回全日本選抜競輪 開催（※2）（優勝者：合志正臣〔熊本〕）	特別競輪 8回目（GI）
	5月	第54回全日本プロ選手権自転車競技大会開催	
	6月	ACCトラックアジアカップ2007日本ラウンド開催	ACC（※3）
平成20(2008)年	9月	サテライト宮城（宮城県村田町）オープン	
	9月	サテライト朝日（山形県朝日町）閉鎖	
平成21(2009)年	3月	地域開放型施設（バックスタンド）完成	
		いわき平競輪場 グランドオープン	3/20
	7月	ナイター競輪 初開催	
平成22(2010)年	9月	第53回オールスター競輪 開催（優勝者：山崎芳仁〔福島〕）	特別競輪 9回目（GI）
平成23(2011)年	3月	東日本大震災 発生	3/11
		いわき平競輪場 一時閉鎖	一時的に支援物資仮置場に
	6月	いわき平競輪場 再開（11日函館記念場外）	6/20本場開催FIN
	11月	「いわき市復興競輪」（FI）開催	
	12月	平場外車券売場 閉鎖	
平成24(2012)年	1月	民間によるインターネット投票 開始	
		復興競輪「がんばっぺいわき」（GIII）開催	1/21-24震災後初の記念
平成25(2013)年	3月	復興競輪（GIII）開催	
		3日目最終R「チャリーズ」杯	被災地応援チーム
	8月	復興競輪・第9回SNF（※4）開催（優勝者：佐藤友和〔岩手〕）	特別競輪 10回目（GII）
	12月	重勝式勝者投票法 導入	チャリロト
平成26(2014)年		復興競輪（GIII）開催	
	1月	3日目9R KEIRIN EVOLUTION（FII）	国際基準レース
		3日目最終R「チャリーズ」杯	被災地応援チーム
平成27(2015)年	2月	投票業務用機器 更新	
	10月	入場料有料から無料へ	
	12月	バンク（競走路）舗装全面改修	
平成28(2016)年	10月	いわき市市制施行50周年	
平成29(2017)年	3月	チャリ・ロトプラザ（郡山場外内）開設	
	8月	第60回オールスター競輪 開催（優勝者：渡邊一成〔福島〕）	特別競輪 11回目（GI）
平成30(2018)年	8月	第61回オールスター競輪 開催（優勝者：脇本雄太〔福井〕）	特別競輪 12回目（GI）
平成31(2019)年	3月	チャリ・ロトプラザメインスタンド店 開設	3/29
令和 2(2020)年	1月	チャリ・ロトプラザバックスタンド店 開設	1/23
	7月	第16回SNF（※4）開催（優勝者：清水裕友〔山口〕）	特別競輪 13回目（GII）
令和 3(2021)年	7月	「サテライトかしま」から「クラブかしま」へ	7/29リニューアルオープン

年	月	施設及び開催関係	備考
令和 3(2021)年	8月	第64回オールスター競輪 開催 (優勝者: 古性優作[大阪])	特別競輪 14回目 (GⅠ)
令和 4(2022)年	5月	第76回日本選手権競輪 開催 (優勝者: 脇本雄太[福井])	特別競輪 15回目 (GⅠ)
令和 5(2023)年	3月	サテライト大和 (宮城県大和町) 車券発売業務休止	3/31
令和 6(2024)年	4月	第78回日本選手権競輪 開催 (優勝者: 平原康多[埼玉])	特別競輪 16回目 (GⅠ)
令和 8(2026)年	12月	KEIRINグランプリ 開催予定	初開催予定

(※1) 現在は行われておりません。

(※2) 日本テレビ系列で初めて全日本選抜決勝戦を中継 (5日)

(※3) ACC・・・Asian Cycling Confederation / アジア大陸自転車競技連合

(※4) SNF・・・Summer Night Festival (GⅡ)

7 競輪のしくみ

(1) 競輪って何？

競輪とは、地方自治体が開催する自転車競走をいいます。そこでの競技結果を賭けの対象として車券（勝者投票券）を販売することができ、車券売上の75%を当選した人に払い戻し（当選した人たちで売上の75%を山分けします）、残りの25%で運営します。

施設の管理や開催の運営にかかった費用、人件費などを差し引き、残った収益は地方自治体の財源として福祉やインフラの整備等に充てられます。

競馬や競艇、オートレースと並ぶ公営競技の1つです。

また、競輪の開催や競技方法、車券の販売については「自転車競技法」に定められています。

国際的な自転車競技（トラックレース）とは一線を画し、戦後日本独自に発展してきました。

近年、ケイリン（KEIRIN）としてトラックレースの世界選手権やオリンピック種目の1つにもなってます。



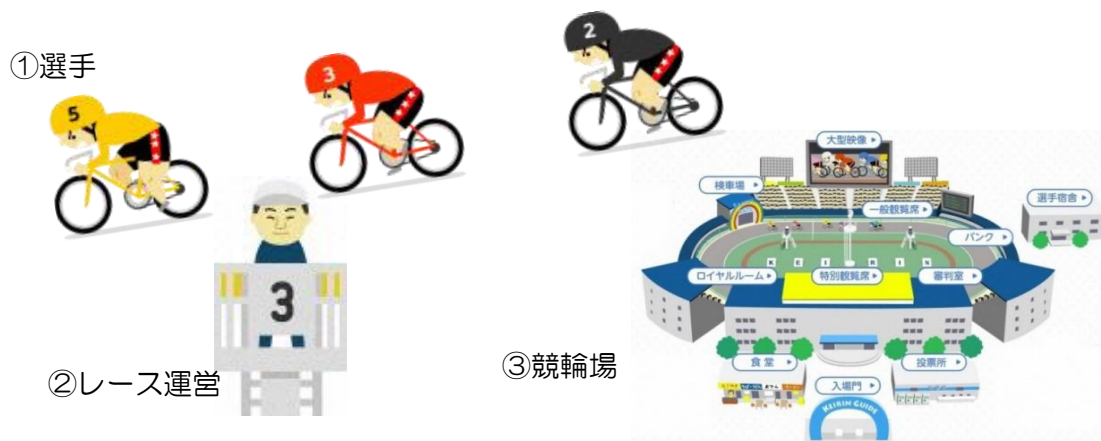
(2) 競輪の開催

競輪は通常3～4日間の日程で開催されます。

レースは勝ち上がりのトーナメント制で1日に11～12R（レース）が行われます。1Rで最大9名の選手が出走します。

競輪を開催するには、①選手はもちろんのこと、競技として公正に行われるための審判をはじめとする②レースの運営、そして適切に管理されている競技をする③場所（競輪場）の大きく3つの要素が必要になります。

そして年間を通して全国43か所にある競輪場でほぼ1月に1回以上のペースで競輪が開催され、その適正な運営管理に多くの人が携わっています。



(3) 自転車（レーサー）

競輪にとってなくてはならないもの、それは自転車です。

自転車で走り、速さを競うからこそ競輪なのです。馬なら競馬、モーターボートなら競艇、オートバイ（自動二輪車）ならオートレースになってしまいます。

レースで使用する自転車のことをレーサーと呼びます。私たちが普段街乗りしている市販の自転車とは別物です。

その最たる違いは、競輪自転車では、公道を走れないことにあります。なぜか？それはブレーキがないからです。

なぜブレーキがないのでしょうか？

それは速さを競うレースにおいて、ブレーキはいらないからです。

つまり、誰よりも速く走るために余計なものを削ぎ落したものが、競輪で使われるレーサーなのです。

速さを追求した究極のマシンと言えます。



レーサーは、選手に合うように全てのパーツが綿密にチューニングされてる完全オーダーメイド品です。

1台、40万円ぐらいからと言われます。

重量は約7~8kg。
その材質は、クロムモリブデン鋼（クロモリ鋼）で、溶接が容易ですが、かなりの強度と硬度があるフレームと言われてます。

【特徴】

- ① ブレーキがない・・・ 競走路は楕円形のオーバルコースなので、右折左折の必要がなく、スピードを落とすためのブレーキはいらない。

スピードの調整は、ペダルを踏みこむ力だけで行います。なので、急には止まれません。

公道も走れません。

- ② フレーム . . . 一台一台、ビルダーと呼ばれる職人が作ります。
もちろん手作りなので、世界に1つだけのフレーム
になります。
- ③ 後輪ギヤ . . . 後輪ギヤは1つに固定されていて、変速機（ギヤ
チェンジ）はありませんし、ペダルも空回りしませ
ん。
止まりたい時にはブレーキがないので、スピード
が落ちるまで自転車を進めるしかないので、
ペダルも一緒に回ります。
逆に、ペダルを反対に踏み込めばバックもできて
しまいます。
これらの固定ギアの自転車をピスト（piste 仏）、
ピストバイクと言います。
- ④ ペダルギヤ . . . ペダル側のギヤも競走時は固定ですが、ギヤ倍数
を選択することができます。簡単に言うと、市販自
転車のギヤ段数を、走る前に選べるということです。
ギヤ倍数が小さいほど踏み込む力は軽くなり、
短時間にトップスピードに到達しますが、持続させ
るためにはペダルをより多く回転させる必要があり
ます。
その反対がギヤ倍数が大きいものになり、踏み込
む力は重くなるのでトップスピードになるまで時間
がかかりますが、スピードに乗ってしまえばより
高速で走ることも可能になります。
- ⑤ タイヤ . . . タイヤは外径675mm、太さ22mmです。
かなり細いです。

(4) 競輪選手

① 選手のクラス（級、班）

競輪選手は、全国各地で開かれる競輪に出場し、賞金を稼いで食べていく、プロのスポーツ選手です。



プロスポーツの世界は賞金を獲得することで生計を立てなければならないシビアな世界ですが、どのプロスポーツでも、選手の実力に応じてクラス（階級）に分けられ、力が拮抗した中で白熱した戦いが求められます。

競輪界も例外ではなく、特に男子は実力に応じて大きくS級とA級の2つのクラスに分けられます。

さらにS級はS班、1班、2班の計3つに分けられ、またA級は1班から3班までの計3つにと、男子は合計で6つの階層に分けられます。

S級とA級で一緒に走ることはありません。

また、同じ級でも上の班の方が、よりグレードの高いレース（賞金も高額になります）への出場機会が多くなります。

級班の入替は年2回、競走得点（レースごとに着順でポイントが加算される）などにより入替となるため、選手はより上の級班を目指して努力することになります。

② パンツの色

男子のパンツは黒色を基調とします。

級班は、両脇にある線の色でS級とA級を見分けることができます。

S級の線は赤、A級は緑です。

そして、S級の中でも最上位に位置し、9人しかいないS班（S級S班／SS）の選手だけは、赤色を基調としたパンツになります。

遠目でもすぐに分かります。赤いパンツは実力のある選ばれた者の証であり、誇り高い色なのです。

女子のパンツはピンクを基調とします。

女子は人数も少ないことから、級班はL級1班の1つしかないのも、全員同じ色のパンツになります。

《選手数と級班の比較》

全選手数	級	級別選手数	班	班別選手数	特徴
2,392名	S級	674名	S班	9名	 赤色（パンツ） 黒色（ライン）
			1班	211名	 黒色（パンツ） 赤色（ライン）
			2班	454名	
	A級	1,502	1班	495名	 黒色（パンツ） 緑色（ライン）
			2班	524名	
			3班	483名	
	ガールズ L級	216名	1班	216名	 ピンク色（パンツ） －（ライン）

※ ラインに入る星の数は7つ

選手になるには？

競輪選手になるためには、まず静岡県伊豆市（修善寺）にある日本競輪学校に入学する必要があります。

入学試験は、17歳以上で高校卒業と同等以上の学力があれば、自転車競技の経験を問わず受験できます（一般入試／経験の有無で試験内容が異なります）。年齢の上限はありません。

また、入学試験の直近の世界規模の大会（自転車競技だけでなくそれ以外の個人種目も含む）で優秀な成績を収めた者は、特別選抜入試として試験内容が大幅に緩和されます。

そして、競輪学校在学中に国家試験である競輪選手資格検定（経済産業省管轄）に合格、卒業し（合格しないと留年）、一般社団法人日本競輪選手会に加盟する全国いずれかの選手会支部に所属することで、選手として登録され、晴れて競輪選手となれるのです。

③ ユニフォーム

競輪はチームといったものはないので、選手に決まったユニフォームといったものはありません。

そのかわり、レースごとに毎回番号（車番）が割り振られ、車番に応じた決められた色の上着を着ることになります。

ヘルメットも同じ色です。

色を見れば何番かが分かるようになっています。

スポンサーが入る選手もありますが、基本的には無地に番号だけ入ったものになります。

《車番と指定色》

1番車	2番車	3番車	4番車	5番車	6番車	7番車	8番車	9番車
								

ただし、毎年12月30日に開催される競輪界最高峰のレース「KEIRINグランプリ」（GP）に出場した9人の選手は、S級S班となり翌年1年間、胸に特別なデザインの入ったグランプリユニフォームを着てレースに出場することになります。

S級S班の選手はパンツだけでなく、上着でも分かるようになっています。

また、グランプリを制しチャンピオンに輝いた選手は、グランプリユニフォームだけでなく、グランドチャンピオンとして翌年1年間は常に1番車に固定されます。

最も速く実力のある選手として、常に白色のグランプリユニフォームにS級S班の赤色パンツで競輪開催を盛り上げることになります。

右の写真では、白い1番車の選手は、前年のグランプリ覇者であることの証に、肩から腕にかけて金色の模様があり、パンツも赤を基調としていることが分かります。

他の選手の単色、黒パンツと比べると一目瞭然です。



車番ってランダムじゃない!!!

車番、つまりどの選手が何番車になるかは誰がきめてるのでしょうか？

それは、審判をはじめレースを運営する公益財団法人JKAの番組編成委員が決めていきます。当然勝ち上がりのトーナメント制のため、前日に決まります。

選手によっては特定の車番でゲン担ぎをする人もいますが、要望は一切聞き入れられません。

ほとんどの場合、1、2、3番、そして奇数の番号に、競争得点の高い選手が割り当てられ、4、6、8番が得点の低い選手になるようです。したがって、4、6、8番が3着までに入ると払戻金が高くなることが多いのです。

毎年12月30日に開催される競輪の最高峰「KEIRINグランプリ（GP）」だけは、その年の実績から最も優秀な9人が選ばれ1発勝負のレースが行われるので、車番は抽選で決めているようです（その年の開催によって変わります）。

ラインって何？

ラインとは、レースごとに選手がチームを組んで走ることです。言わば、即席のチームと考えてもいいでしょう。

ラインは、レース展開の要となり、予想するときの重要な要素となります。

レース出走前（2R目以降は前のレースが終わってすぐ）に、選手たちは必ずバンクを走り、観客の前で「顔見せ（脚見せ）」しますが、どのような並びで走るか、必ずラインを組んで走ることからも、その重要性がうかがえます。

なぜラインを組むのか？

そもそも一昔前まではチームを組んで戦うことは今ほど重要視されていなかったようです。

しかし、1979年の日本選手権競輪（立川競輪場）の決勝戦、ラインができるきっかけとなったレースがありました。

当時、圧倒的走りを見せていたミスター競輪こと中野浩一選手（福岡県久留米市／世界選手権個人スプリント10連覇、特別競輪12勝〔GP1勝、GI11勝〕、賞金王6回〔歴代最多〕）の独り勝ちを阻もうと、千葉県の街道「房総フラワーライン」を練習地としていた選手たちがチームを組み、見事、中野選手の捲りを封じ込めることに成功しました。

その後、地区を中心にチームを組んで戦うことが定着し、フラワーを省略して「ライン」と呼ばれるようになったそうです。

それでは、ラインは何を基準に決まるのでしょうか？

多くの場合、所属する都道府県や地区で決まります。

「福島」の選手の場合、同じ福島の選手や同じ北日本地区の東北あるいは北海道の選手とラインを組むことが多いです。

その他にも、東日本・西日本で組んだり、同門（師匠が同じ）、競輪学校同期生で組む場合などもあるようです。

選手の実力と合わせて、このラインの展開を読んでいくことが、競輪の面白さの1つと言われます。

脚質って何？ 脚の性質？特質？

選手が得意とする走り方のことです。

着順を予想する上でラインとともに重要な要素の1つと言われ、予想紙などの出走表には必ず書かれています。

なお、脚質と似たもので、実際の結果（2着以内）を表す「決まり手」という用語があります。決まり手はレース結果を端的に区分したもので、その決まり手の多さから、その選手の特徴を導き出したものが脚質と考えて良いでしょう。

実際、脚質の判断は、決まり手の多さが1つの目安になっているようです。

脚質は大きく「逃・追・両」の3つに分かれます。

逃	追	両
主にラインの先頭を走る選手のこと。先行選手と呼ばれ、自らレース展開を作り、同じラインの先導役となる。	主に先行選手の後ろについて走る選手のこと。マーク選手、追込み選手と呼ばれ、同じラインの先行選手を守り、さらに勝機を狙う。	逃・追のどちらもこなすことができる選手のこと。自在選手と呼ばれる。

※ まり手の種類・・・逃げ（逃）・捲り（捲）・差し（差）・マーク

逃・・・残り1周になった時に、ホームストレッチライン（ゴールラインと同じ）を最初に通過した選手が、そのままゴールした場合の決まり手。

捲・・・残り1周になった時に、ホームストレッチラインを最初に通過した選手を最終4コーナーまでの間に、追い抜いた場合の決まり手。

差・・・概ね最終4コーナー通過後に前を走る選手を抜いた場合の決まり手。

マーク・・・同じラインの前を走る選手を抜けずに、2着でゴールした場合の決まり手。

(5) 競輪レース

① レース全般

競輪は通常、3～4日間の日程で開催されます。

レースは勝ち上がりのトーナメント制で、1日に11～12R（レース）が行われます。

選手が出場できるのは1日1Rと決まっていて、初日、2日と勝ち上がり、最終日の決勝R（基本的に最終レース）での優勝を目指します。

1Rで上位3着までが翌日に行われる本選レースに上がっていきます。

3着に入れなかった選手は、翌日に行われる同じ順位者を集めたレース（特選、選抜、一般など）に振り分けられ、その中で勝者を争います。

参加した選手は、レースごとに獲得できる賞金だけでなく、順位によって得られる競走得点を積み上げていくことで、昇級昇班、ビッグレースへの出場、高額賞金の獲得を目指します。

② レースの格付け（グレード制）

選手にクラス（格付け）があるように、開催レースにも格付け（グレード）があります。

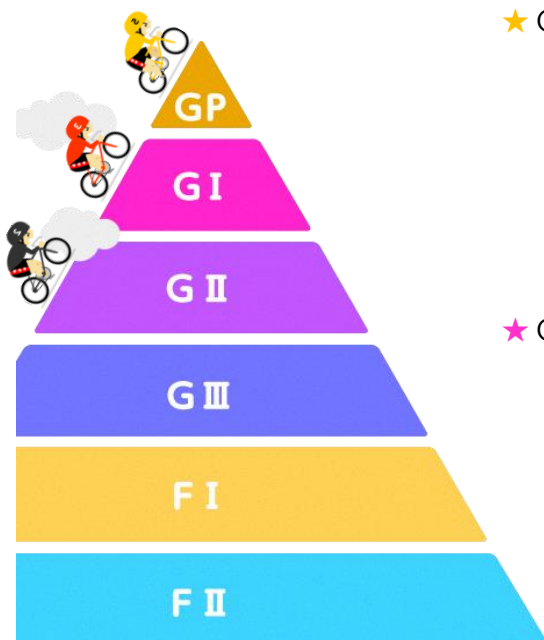
競輪は、毎年年末（12月30日）に開催されるKEIRINグランプリを頂点（その年の最終決戦）として、1年間を通じて様々なグレードのレースが開催されます。

その年のゴールとなるKEIRINグランプリは、グランプリ（GP）を除いた最高グレードのGⅠレース（年6開催）で優勝した選手と、その年の賞金ランキング上位選手から合わせて9名だけが出場でき、真のチャンピオンを決める競輪界最高峰のレースとなります。

賞金額も最高で、優勝者は1億円を獲得することになります。

もちろん、9名だけの1レースで1発勝負です。

ただ、開催としては1レースだけでは寂しいので、通常のFⅠレース（3日間）を併せて開催し、そのうち、初日には女子の1番を決めるガールズグランプリが、2日目には若手の最も優秀な選手を決めるヤンググランプリ（GⅡ）も開催されます。



★ GP (グランプリ)

競輪界最高峰のレース。その年の最も優秀な選手を決める1発勝負で1レースのみを言う。

- KERINグランプリ (単発レース)
毎年12月30日に行われる。

★ GI (ジーワン)

S級上位選手が参加。GI 優勝者はGP出場権を獲得する。

- 全日本選抜競輪 (4日制) 2月ごろ
- 日本選手権競輪 (6日制) 5月GW
- 高松宮記念杯競輪 (4日制) 6月ごろ
- オールスター競輪 (5日制) 8月ごろ
- 寛仁親王牌競輪 (4日制) 10月ごろ
- 競輪祭 (6日制) 11月ごろ

★ GII (ジーツー)

GI に次ぐ格付けのレース。

レースごとの選考基準に基づいて選ばれた選手のみが出場できます。

7月ごろ

- サマーナイトフェスティバル (3日制) 9月ごろ
- 共同通信社杯 (4日制) KEIRINグランプリの前日
- ヤンググランプリ (単発レース) 3月ごろ
- ウィナーズカップ (4日制)

★ GIII (ジースリー、キネン)

各競輪場の開設を記念して年に1回開催されるレース。出場できるのはS級選手だけ。

※ GI 開催場は、基本的に同じ年度に記念競輪の開催はありません。

★ FI (エフワン)

各競輪場で2カ月に1回程度開催するレース。

S級シリーズとして、S級選手とA級1班・2班の選手が出場します。

3日制または4日制で、1日に11Rから12R行われます。1日の前半1R～5、6RがA級レース、後半がS級レースになります。S級選手とA級選手が同じレースで走ることないので、最終日の最終RがS級決勝、その前のレースがA級決勝となることが多いです。

★ FII (エフツー)

各競輪場で2カ月に1回以上開催するレースで、A級選手限定のレース。

午前中の時間帯に行われるモーニング競輪や、午後9時から深夜にかけて行われるミッドナイト競輪はFIIのみの開催です。

モーニングやミッドナイトの開催が増えていることもあり、1年を通じて開催数が最も多いレースになります。

★ ガールズケイリン（ガールズ）

ガールズケイリンは選手数が少ないため、ガールズだけの競輪開催は今のところありません。

グレードとしてはFⅠ、FⅡに組み込まれることが多く、1日に2レース程度となります。
最終日の後半（FⅠの場合、S級決勝、A級決勝の前R）に決勝Rが行われることが多いです。

また、男子との区別がつきやすいようにパンツは全選手がピンクに統一され、
競技用自転車もフレームはカーボンに、後輪は基本的にディスクホイールになります。
風が強い日は、影響を受けにくいスポークに変更となる場合もあります。

ファン層も異なり、特定の選手への追っかけファンもいるなど、アイドル並みの選手もいます。注目度も高く、観戦風景も華やかになります。



③ レースの流れ

レースの流れに入る前に、選手は1回のレースでどのぐらいの距離を走るのでしょうか？

一般的には2,000m程度になります。全国43場で最も数の多い1周400mのバンクで5周、短い333mバンク（松戸、伊東など。前橋は335m）で6周、距離の長い500mバンク（宇都宮、大宮、高知など）で4周を走ることになります。

※ 400バンクでは2,025mが一般的です。

ちなみに、クラスが下のガールズケイリンやA級チャレンジ（A級3班）のレースは距離が短く1,625m。

反対にグレードが上となるGⅠの決勝になると1周分（400mバンク）増えて2,425m。

最高峰のグランプリに至っては2,825mとなり、400mバンクで2周分増えることになります。

さて、短くて1.6km、力のある男子で2kmないし3km程の距離をスタートからゴールまでずっとトップスピードで走れるでしょうか？

さすがにプロでも無理です。

また、競技用自転車（レーサー）はギヤチェンジが付いていないので、どんな選手でもスピードに乗るまで時間がかかります。

さらに、止まっている状態から短時間でトップスピードに持っていくのは足腰に相当な負荷がかかるので選手生命を脅かすことにもなります。

そこで、数周にわたり選手全員が一定の速度になるまでペースメーカー（先頭誘導員）が入ります。

そして、選手たちは、先頭誘導員がコースから外れてはじめて全力で競い合うことになります。

それでは1レースの流れを一般的な展開順に見ていきましょう。

（Ⅰ）選手紹介（脚見せ、顔見せ）

レースが始まる前（通常は、前のレースが終わり次第）、選手たちがバンクを2周程度走ります。

競馬でいうと、パドックで直前の馬の状態を見るのに似ています。

競馬と違うのは、実際のコース（バンク）を走ることと、レースで実際に並ぶラインを組んで走ることです。

ここで見るべきは、「①どの選手とどの選手が組むのか」、そして「②組んだラインの中で選手たちがどの順番で走るのか」になります。

というのは、ラインの先頭は思いっきり風を受けます。余程の体力、脚力がない限りゴール前で力尽き、後ろに隠れていた選手にあっさり抜かれてしまいます。

実力のある選手がラインの先頭にいる時は、そのまま1着で来ると見るのか、その後ろについた選手が抜いて1着になると見るかなど、普段よりも推理力や決断力が必要になったりもします。

さて、観客は選手紹介のラインの並びを参考にして、最終的に何番と何番と何番がどの着順になるかを予想し、そして車券を購入します。

レースによりますが、選手紹介からスタートまで、おおよそ20分から30分の時間がもうけられます。

選手たちはこの時間を利用して集中力を高め、観客は車券購入を終えて声援準備に入ります。

(Ⅱ) スタート直前



出走時間1～2分ほど前になると、選手たちが自転車を携えてバンクに入場してきます。

スタートラインまで来ると選手たちは、自らの手で自転車の後輪を発走機に固定。サドルにまたがりそれぞれのスタイルでスタートを待ちます。



選手入場口は敢闘門やファイティングゲートなどと呼ばれます。競輪場ごとに入場口の位置が異なるので、入場の仕方でも競輪場により様々です。

いわき平競輪場はメインスタンド3F一般観客席の真下に入場口があるので、選手の入場からスタートまでの時間が短いという特徴があります。

(Ⅲ) スタートから1、2周

号砲がなり一斉にスタート。

ラインどうしてどのポジションをとるか各選手がけん制しあいます。

すぐに先頭誘導員を追いかける者、他の選手を先に行かせようとゆっくりとペダルを踏みだす者と様々です。

先頭誘導員の後方で選手同士がけん制しながらも、選手紹介時で並んだラインをつくりあげ、1列になって周回します。

1列になる理由は誰もが風を受けて体力を消耗させたくないからです。

そして、ペースメーカーである先頭誘導員のもう1つの役割が、先頭に立った選手の風除けになることなのです。

(Ⅳ) 残り3周(青板)

残り周回は、ゴール手前で審判員が数字の書かれた大きい板をめくって表示します。

数字だけでなく、色でも分かるように残り3周の時は青色の板、残り2周は赤色の板を使います。

青板あたりを過ぎるとラインごとに動き始めます。

先頭誘導員を抜かすと失格になるので、あくまで先頭誘導員の後方でラインのポジション取りになります。

まずは後ろにいたラインの選手たちが前に動き出し、それを見ながら中盤にいるラインの選手たちも後ろのラインをやり過ぎて、その後ろにつくか、あるいは後ろのラインをけん制して自分たちが前に行くのか、有利な位置の取り合いが静かに始まります。

(Ⅴ) 残り2周(赤板)

このあたりから先頭誘導員を抜かして、さらに位置取り合戦が激しくなってきます。

場合によってはラインが崩れ、1列から2列、3列と並びながら、抜かし抜かされながら、先頭にいる選手はこのまま逃げ切ろうと、また後ろにいる選手たちは離されまいと、あるいは追い抜こうとペダルを踏みこむ力も強くなり、足の回転も速くなっていきます。

先頭誘導員は邪魔にならないよう内側の退避路に入りこみます。

(Ⅵ) 残り1周半『打鍾(だしょう・ジャン)』

バックストレッチライン（第3コーナー手前）あたりで、打鍾がはじまります。競輪独特の音といてもいいでしょう。

打鍾の音は、はじめはゆっくりと、そしてだんだんと早く打ち鳴らされます。

鐘が鳴り始めるとレースの見せ場が開幕です。

この鐘の音に合わせるかのように選手たちはスピードを乗せていき、先を行く選手を外側から内側から抜きにかかります。

ラインが生きている場合は、2番手以降の選手が、後ろから追い抜きにかかる選手をけん制します。つまりブロック的な動きをしたりします。

追い抜きにかかる選手はそれを見越して、さらにペダルを踏みこみスピードをあげるか、外側に行こうと見せかけ内側を抜き去るか一進一退の攻防が繰り広げられます。

(Ⅶ) 残り1周

鐘の音が消えはじめると、代わりに風を切って車輪の回る音がことさら大きくなってきます。

それは静かな、しかしスピードを出すためだけに極限まで細く軽く作り上げられた鋼の自転車と、鍛え抜かれた肉体が作り出す、人間が自力で出せる最高時速70kmの闘いの音なのです。

ここから動き出す選手もいます。

列の中盤や後にいても、スパートをかけて、みるみる前の選手を抜いていく場面も割と多く見られます。

(Ⅷ) 残り半周そしてゴール

第3コーナーから第4コーナーにかけて角度のきつい傾斜に向かって各選手が突っ込んでいきます。

そこにはきれいに1列で走っていた姿は見る影もありません。

選手たちはぎりぎりまで接近しつつ、あるいは頭や肩をぶつけ合い、追い抜きあるいは並走してゴールに飛び込んでいきます。

ゴール手前ではもはや顔を上げてる選手はいません。

皆、目一杯踏み込むことだけに集中し、最後は1mmでも先にゴールすることだけを考え、腕を突っ張ってゴールに突入します。

そしてゴール！！！！

際どい場面もよくあり、必ず写真判定で確認されます。

ミリ単位で見ますが、同着と判定される場合もあります。

ガッツポーズをする選手、頭をうなだれる選手、どの選手も普段のゆっくりとした走りに戻っていきます。

そして審判の決定が出る前に、選手たちはもと来た入場口に戻っていきます。

闘い終わって敢闘門では、練習中や休んでいる選手たちが、たった今競い合ってきた選手たちを出迎えます。

走り終えたばかりの選手がクールダウンをしている間、次のレースの選手たちがバンクに出てきます。

そして、退場とともに、次の選手たちが選手紹介でバンクを走り始めるのです。

いわき市 産業振興部

公営競技事務所

いわき市平谷川瀬字西作1

T E L : 0246-23-3751

F A X : 0246-21-8989

e-mail: koeikyogi@city.iwaki.lg.jp

I W A K I T A I R A K E I R I N

